

§ 協会の動き(令和元年7月分)

☆ 令和元年度安全大会を開催

[事故防止対策委員会事業]

7月2日(火)建産連研修センターにおいて令和元年度安全大会を開催いたしました。

今大会より優秀安全管理者表彰が行われました。

○訓 示 埼玉労働局 労働基準部 健康安全課 課長 田中 康弘氏

○安全講話 『労災防止における管理監督者の役割』

MS & ADインターリスク総研株式会社

MS & ADインタ総研・労災・安全文化グループ

主任コンサルタント 阿部龍之介氏

岡村会長は冒頭、優秀安全管理者表彰の初実施について「事故防止対策委員会の提案で行われることになりました。この表彰を契機にさらなる安全啓発を期待したい」と述べたほか、建設業の時間外労働の上限規制について「実施に異論はありませんが、生産性を保ちながらどう行っていくか疑問が残ります。建設工事は現場で働く人で支えられており、一人一人を大切にしなければなりません。施工状況など刻一刻と環境が変化する中、しっかり対応し安全第一をお願いします」とあいさつしました。

優秀安全管理者表彰受賞者は、岡裕章氏（浦和電気工事株）、吉田憲司氏（株弓木電設社）、田中茂氏（株おぎでん）、野口忠氏（高山電設工業株）、矢嶋美智雄氏（株躍進電気）のみなさんです。



訓示で田中健康安全課長は、県内における建設業で労働災害による死亡者数が7人と、前年同時期よりも4人増加している状況に触れた後、今年2～6月にかけて30人未満の事業場で発生した墜落・転落などの死亡労働災害事例を紹介。「死亡事故に至った状況を知っていただき、会社に戻ったら日々の安全活動を今一度見直して欲しい」

[田中課長] と呼び掛けました。

引き続き阿部氏が、労災防止における管理監督者の役割を解説。まず30年間の労災の発生状況を示しながら、死亡災害が減少傾向にある一方で死傷災害が増加傾向にあることに触れました。また建設業では墜落・転落による労働災害が多く発生していると説明しました。そのうえで労働災害によって刑事、民事、行政の3つの法的責任と社会的責任が発生することを強調。



[阿部氏]

管理監督者の役割について「管理監督者は安全衛生管理を行う上で重要なポジションとなります。監督・指示の方法、労働者の適正配置、作業手順書、日常の安全活動といった4つのポイントを意識していくべきだと思います。ただ管理監督者の熱意だけでなく、経営トップ



の決意、そして全員参加による活動推進が不可欠です」と結びました。

終わりに積田優事故防止対策委員長の掛け声で、本年度のスローガン

『新たな時代に PDCA

みんなで築こう ゼロ災職場』

を唱和しました。

☆ 新入社員フォローアップ研修を開催

[人材育成委員会事業]

7月17日(水)18日(木)に、新入社員フォローアップ研修が行われました。1日目は建産連研修センターで井島鈴子氏を講師に招きビジネスマナーの再教育を実施。2日目には賛助会員のネグロス電工(株)東京中央営業所のショールーム(東京都江東区)を見学。電設資材や工具の特徴を、実際に手に触れながら学びました。

佐野雄一郎人材育成委員長は「今年4月の新入社員研修から3ヵ月が経過しました。今日はそれぞれの成長を確認するとともに、深く接客できるように自分のスキルを磨



いてください。2日目は電材のショールームで知識を得て日々の仕事に役立ててください。また他の会社の方とコミュニケーションをとって今後の仕事に生かしていただきたいと思います。」と有意義な研修となるようエールを送った。

[佐野委員長]

2日間の研修を終え、川合昭副会長が受講者全員に修了証を授与しました。



[新入社員研修の内容を再確認]